



2025年1月10日

(前年同月比：%)		2024年							2025年						通期	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期	1月	2月	3月	4月	5月	6月		下期
既存店	売上高	101.6	109.3	101.9	100.8	105.0	104.2	103.9								103.9
	客数	101.8	105.8	102.0	100.0	103.5	102.8	102.7								102.7
	客単価	99.8	103.3	99.9	100.7	101.5	101.4	101.2								101.2
全店	売上高	106.0	116.0	109.1	108.8	113.0	113.1	111.1								111.1
	新規出店数	5	1	3	3	5	3	20								20
	閉店店舗数	0	0	0	0	0	0	0								0
	全店舗数	323	324	327	330	335	338	338								338

概況コメント

(環境) 当月は前年同月と比較して気温が低くなり、冬らしい寒さとなりました。降水量が少なく、晴れの日が多くなりました。

(商品) 11月27日から12月1日まで開催したポイントアップイベントの「周年祭」が好調でしたが、その反動影響が前半にありました。一方、後半は食品を中心とした通常の消費に加えて、冬物商品やおせちなど正月関連の消費が活況を呈しました。年末商戦は戦略が奏功して、月末5日間の売上高は前年同期間と比較して既存店は107.1%、全店は116.5%と、強い成長を実現しました。食品は、餅や練り物、魚卵、塩干物などの季節食品が伸長したことに加えて、チルド麺や冷凍食品などが貢献しました。リニューアルしたローズかつ重や、ハレの日を彩るファミリーパックの惣菜が大変好調でした。非食品は、ボディケアなどの保湿用品、マスクなどの衛生用品、風邪薬などの医薬品が伸長しました。また、季節寝具が堅調となりました。

(店舗) ・12月度の新規出店：3店 スーパーセンター：小樽塩谷店(北海道)、グランディールイチイ店(北海道) smart：富岡バイパス店(群馬県)
 ・12月度の閉店：0店 ・改装リニューアルオープン：3店

※ 売上高の前年同月比はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値と異なる可能性があります。

※ 概況コメント欄の天候は、当社店舗が多く所在する福岡県を中心に記載しております。

※ 「グロサリー」は菓子類などの加工食品、「デイリー」は卵や乳製品などの日配品、「フレッシュ」は生鮮四品(青果・精肉・鮮魚・惣菜)、「生活」は日用消耗品や家庭用品、「ハード」は家電製品などの耐久性商品、「アパレル」は衣料品を示しております。